

安全に通行できる 町道整備を

答 舗装修繕を行っていく



新垣 善之 議員

問 町道3号、10号、255号線は、凹凸があり安全な通行に支障がある。改善できないか。

町長 路面の亀裂等が見受けられるため、アスファルト舗装の修繕を行っていく。

問 町道3号線(当間原〜大名向け)は、最近から管工事も入っているのですが、併せて修繕すると効率的かどうか。
都市整備課長 管工事と合わせて、舗装面を仕上げる時にその他の悪い箇所についてもなるべく補修していく。

問 町道10号線(東新川沖縄



町道3号線の現状

自動車道ボックス下)は、グレーチングの変形や凹凸がある。路面整備が必要と考えるかどうか。

都市整備課長 一度舗装工事を行ったが、舗装面ではなく路盤整備から検討していきたい。

問 町道255号線(花水緑の大回廊公園〜喜屋武向けの側道)も凹凸があり、修繕計画はあるか。

都市整備課長 今年度は舗装整備を行うが、交通量が多く、将来的に路盤整備も必要だ。

問 側道から反対側へ通過する際、フェンス内の草で対向車が見えにくい。点検・除草できないか。

町長 町管理と国管理とがある。草を刈ってコンクリートを張った箇所もあり、国のものには要請を行っていく。

問 北丘ハイツから町道3号

線に接続し、信号待ちする部分に「おゆずり車線」の導入ができないか。

町長 南風原バイパス整備の際に、関係機関と協議した結果、様々な課題があるため交通安全上望ましくないとの結論であった。

問 停止線はそのまま、通路としてあける配慮を求める路面整備はできないか。

町長 「おゆずりエリア」という認識で、対策の内容を考えながら関係機関に確認していきたい。

問 本町は幹線道路が多く、通過交通が多い。道路インフラ整備、渋滞緩和改良工事の予算確保に向けて、国・県へ要請してほしいかどうか。

まちづくり振興課長 毎年、沖縄総合事務局を主体に、南部地域渋滞対策ワーキンググループの中で要請をしていく。